



駒林小 学校便り

令和3年度
7月号
6月30日発行

安心・安全な学校づくり

校長 西尾 武泰

梅雨明けも近づくにつれて、本格的な夏の訪れを感じるころとなりました。校長室からは中庭にある朝顔やミニトマト・ナスなどの野菜が青々と元気に育っている姿が見られます。昨年度は6月からの学校再開だったため、植物の栽培が難しかったのですが、今年度は例年通りの風景に、ほっとしますし、嬉しくもあります。昨年度は行われなかった授業参観も、今年度は6月4日に行われました。換気に重点をおいたため、大雨が教室の中まで吹き込むあいにくの天気でしたが、参観率が85%という多数の保護者の方に参観していただきました。皆様のご協力のおかげでクラスターも発生せず、学校としても一安心しているところです。6月末からは水泳学習も始まります。こちらは連年通りとはいかず、今年は5・6年生のみがプールに入りますが、感染拡大防止を第一に考え、ガイドラインに則って、安全に進めていきます。

子どもたちは、休み時間は元気に校庭で遊んでいる姿が見られますが、今年度、大きく変わったのは、自分のタブレットを持ち出し植物の観察をしながら写真を撮り、それをお互いに情報共有する姿も見られるようになったことです。これまでも学校だよりで何回かお知らせしてきましたように、今年度はじまった GIGA スクール構想として、本校でも GIGA スクール開きが行われ、新しいタブレットが子どもたちに配られました。今では子どもたちはタブレットをなかなか上手に使いこなしてきています。使い方のきまりなど、ある程度は決めましたが、さらに上手な使い方が出来るようにこれから指導していきたいと考えています。

さて、本校は安心・安全な学校づくりをするために、毎月行っている安全点検を職員同士がダブルチェックにするようにしています。この方法は、私が本牧にある石油会社へ一年間企業派遣研修に行ったときに、そこで「絶対に事故をおこさない。一回の事故で失う損害は金額だけでなく、信用の失墜も大きい。」と何回も聞きましたので、そこで行っていた安全点検の方法を取り入れています。自分の担当している場所の安全点検をしたのち(プレ安全点検)、それがきちんとできているかを別グループがチェックをするという方法です。また、点検の際には重点テーマを決めて行っています。「地震による倒壊のおそれがないか」や「教室の壁面に危険なものはないか」などのテーマを月ごとに決めて点検を行っています。そのほかにも5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)を大切にしています。

オリンピック・パラリンピックが近づいてきましたが、そこでも「安心・安全を第一に」という言葉がたくさん聞かれます。学校生活を豊かにするためには、まずは安心・安全が一番大切です。これからもさらに安心・安全な学校を目指して職員一同、取り組んでいきたいと思えます。